

地域の会 質問・意見書

日付： 2022年 4月 20日

委員氏名 宮崎孝司

東京電力

に対する **質問** ・ 意見 (いずれか○)

1 第225回(3月)「地域の会」定例会資料、P18「6号機大物搬入建屋杭損傷の原因」に関連して質問します。6号機杭の損傷が地中に埋まっていた「セメント改良土」に起因したことがわかりました。と共に、中越沖地震は地盤や建屋を凄い力でゆすったり、傾けたりしたこともわかりました。P20の①上物・基礎部の調査結果によれば、建屋の床が南北で**10mm**、東西で**6mm**(北面)傾いていたとなっています。

質問1. 6号機の傾きは、地中の「セメント改良土」との衝突によるものですか。

質問2. 杭は建屋が傾かないように設置されているものと考えますが、6号機の傾きは地盤全体の傾きとも考えられます。杭で支えられていた4号機や7号機建屋の床の傾き方を教えてください。

質問3. 杭のない建屋の傾きはどのようになっていますか。4, 6, 7号機以外の大物搬入建屋四隅について教えてください。

質問4. 杭設置か否かは、大物搬入建屋下の地盤によったわけですが、各建屋床下の地盤はどのような地層ですか。
支持層とする西山層か、そうではない古安田層かなど示してください。

2 3月の地域の会で「ケーブル洞道」について回答してもらいました。既設洞道について、私が想像していたものと大きく違ったことがわかりました。工法も開削だけで、「トンネル」工法がなかったわけです。それに、段差や開きの被害が少ないこともわかりました。

質問 被害が少ないことは、既設洞道と新洞道で、構造に違いがあるように思われます。構造単位など、工法での違いを教えてください。

以上